

タイトル「2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)」、フォルダ「大学院危機管理学研究科」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー			
科目名	ロジスティクス法特講		
担当教員	工藤 聡一		
対象学年	2年	開講学期	前期
曜日・時限	時間外		
講義室		単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	—		
科目中分類	修士		
科目小分類	講義・発展		
科目の位置付け(開発能力)	D P 1(意欲・経験・適性) 20% 災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代社会における様々な危機に対する高い関心と深い洞察 D P 2(学識・専門技能) 60% 災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための、法学、政治学、国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能 D P 3(思考力・判断力・表現力) 20% 客観的な情報やデータをもとに論理的に考察し説得的に表現する力		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分			
科目概要・キーワード	モノの調達、生産、輸送、販売に至る流れ及び関連する情報の流れを統制するシステムをロジスティクスという。災害対応、警備、紛争地域への人道支援など、危機管理のあらゆる局面で、ロジスティクスはその成否に決定的な意味をもつ。本講では、平時におけるビジネス・ロジスティクスに対する理解を下敷きに、大規模災害時等の有事におけるソーシャル・ロジスティクスの実施を支える思想、概念、法制度を、内外の事例を踏まえつつ把握する。これらの研究プロセスを通じて、学識・専門技能に加え、判断力・思考力・表現力等の汎用的能力を開発することを目的とする。 ■キーワード ロジスティクス、運送、物流、輸送、支援物資、人道支援		
授業の趣旨	■副題 現代の消費や社会的分業の基礎となっているモノと情報の流れの仕組みを学び、「ロジ」に強い社会人、危機管理担当者になる。		
	■授業の目的 危機管理担当者に求められるロジスティクスの運用能力を基礎づけるものとして、平時におけるビジネス・ロジスティクスの効果的な実施、さらには大規模災害等の有事におけるソーシャル・ロジスティクスの機能的な実施を支える思想、概念、制度を把握し、その内容を適切に説明できるようになることを目的とします。		
	■授業のポイント ロジスティクスとは、原料の調達から製品の生産・輸送・販売に至る過程を統制し企業活動を合理化するシステムをいいます。これは物流やサプライチェーンの要素を含んで現代の重要な社会基盤の一つとなっていますが、当たり前過ぎて普段その重要性を認識することは多くありません。しかし、ひとたび大災害が発生しロジスティクスが破綻すると、生産と流通の過程に混乱が生じ、私たちは深刻な供給不足を体感することになります。もとより、緊急の需要に応ずべき支援物資の供給は、救援機能の種類と量を特定しこれを迅速確実に現地に投入するという、ロジスティクスの応用局面です。このように、生活者としても、危機管理担当者としても、私たちは平時からロジスティクスの在り方を考え、かつ発災時に望まれる対応をできる限り具体的にシミュレートしておくことが求められているといえます。そこで本講では、ロジスティクスの一般的な機能を学ぶことから始めて、災害に強いレジリエントなロジスティクスの構築に向けた理論的検討を行うこととします。		
	ロジスティクスは、元来は補給、後方支援等に関する軍事戦略の一部を占める「ミリタリー・ロジスティクス」の議論でしたが、今日では、生産過程から消費課程に至る製品の物理的な流れ及び関連情報を統制し合理化する企業システム、すなわち「ビジネス・ロジスティクス」の文脈で一般的に用いられています。また、災害救援や国際人道支援などにおける物資輸送は「ソーシャル・ロジスティクス」として新たな範疇を形成しています。ここではビジネス・ロジスティクスを中心に、ドメスティック/グローバル、マテリアル・フロー/インフォメーション・フローの視点を適宜選択して、ロジスティクスの実態面・現象面を総合的に考察することになります。		
総合到達目標	■ロジスティクスに関する流通論ないし交通論の知見を学識として表現することができる。 ・身近な仕組みにおけるロジスティクスの機能を考察対象として認識することができる。(第1～3回) ・ロジスティクスの機能の活用可能性を、自己の経験や目標と関連付け、学修意欲につなげることができる。(第1～3回) ・ロジスティクス概念の発生と拡張について、時代背景を踏まえて的確に説明することができる。(第1～3回) ・物流の6機能に関する知識を取り出し、特定のビジネス・モデルに適用して、分析することができる。(第4回、第5回) ■文理的及び量的な理解力・分析力を動員して、ロジスティクスをめぐる社会的な課題を適切に考察することができる。 ・ロジスティクスに関する主要論点を考察するテキストや資料について、用語の意義や文脈を適切に把握しつつ知識として取り込むことができる。(第1～14回) ・ロジスティクスに関する一般的な知識をその現代的課題の解決のための方略に適用することができる。(第6～15回) ・数値データを効果的に扱い、ロジスティクスの動態を適切に分析することができる。(第5回)		
成績評価方法	■レポート1回(50%) (評価の観点) ロジスティクスの基礎概念及び運用上の問題についての、学識と情報分析力とを問います。理解が正確かどうか、構成と表現の適切を評価します。 (フィードバックの方法) 実施後、出題意図を確認し、関連の知識をおさらいします。 ■授業参加度(50%) (評価の観点) ロジスティクスにかかる法制及び実務に関する、知識・技能を確認します。発想及び表現の豊かさ、知識の正確さ、		

	議論活性化への貢献度を評価します。 (フィードバックの方法) 授業中、随時解説します。																
履修条件	特にありません。																
履修上の注意点	特にありません。																
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> ①授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の進め方、成績評価の仕方等の説明)、イントロダクション、身近なロジスティクス(1)「宅配便」 ②授業概要 (ガイダンス) 授業のテーマや内容、スケジュール、成績評価の方法について確認する。 (イントロダクション) ロジスティクス概念の生成とビジネス・ロジスティクス、ソーシャル・ロジスティクスの展開を概観する(DP1, 2, 3)。 身近なロジスティクスとして、宅配事業の仕組みに目を向け、ロジスティクスへの関心を育てる(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) 宅配便に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) 宅配便に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。 </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> ①授業テーマ ロジスティクスと流通・サプライチェーン・マネジメント、身近なロジスティクス(2)「コンビニ」 ②授業概要 ロジスティクスと関連付けて論じられることの多い流通(商流及び物流)並びにサプライチェーン・マネジメントの意味を考える(DP1, 2, 3)。 身近なロジスティクスとして、コンビニエンス・ストアの共配及びPOSシステムに目を向け、ロジスティクスへの関心を育てる(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) コンビニに関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) コンビニに関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。 </td> </tr> <tr> <td>3</td> <td> ①授業テーマ ロジスティクスと物流機能、身近なロジスティクス(3)「ペリー輸送」 ②授業概要 ロジスティクスと物流機能(輸送、保管、流通加工、包装、荷役、情報)の意味を考える(DP1, 2, 3)。 身近なロジスティクスとして、旅客機による貨物輸送、及びフォワードによる混載業務に目を向け、ロジスティクスへの関心を育てる(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) 航空貨物に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) 航空貨物に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。 </td> </tr> <tr> <td>4</td> <td> ①授業テーマ ロジスティクスと物流事業(1)貨物自動車運送事業、宅配便事業、鉄道運送事業 ②授業概要 運輸統計資料をもとに各運送モードの特徴を考察する(DP1, 2, 3)。 貨物運送自動車事業、宅急便事業及び鉄道貨物輸送事業の各々の事業区分及び事業特性について考える(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) 陸上運送に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) 陸上運送に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。 </td> </tr> <tr> <td>5</td> <td> ①授業テーマ ロジスティクスと物流事業(2)海上運送事業、航空運送事業、利用運送事業、倉庫業 ②授業概要 海上運送事業、航空運送事業、利用運送事業、倉庫業の各々の事業区分及び事業特性について考える(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) 海上運送に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) 海上運送に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。 </td> </tr> <tr> <td>6</td> <td> ①授業テーマ ロジスティクスと物流事業(3)グローバル事業展開 ②授業概要 貿易実務を支える決済、税関、保険等の制度及びグローバル・サプライチェーン・ロジスティクスの現状と将来展望について検討する(DP1, 2, 3)。 貿易実務の知恵であるインコタームズを用い、売買におけるコストとリスクの分担の仕組みを設例に当てはめて考える(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) 国境を越えたサプライチェーンに関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) 国境を越えたサプライチェーンに関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。 </td> </tr> <tr> <td>7</td> <td> ①授業テーマ ロジスティクスと事業戦略(1)マーケティング ②授業概要 商品開発や販売戦略にインパクトを与えるマーケティングとロジスティクスとの関係について考える。3PLの実務についても考察の範囲を広げる(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) マーケティングに関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) マーケティングに関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。 </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の進め方、成績評価の仕方等の説明)、イントロダクション、身近なロジスティクス(1)「宅配便」 ②授業概要 (ガイダンス) 授業のテーマや内容、スケジュール、成績評価の方法について確認する。 (イントロダクション) ロジスティクス概念の生成とビジネス・ロジスティクス、ソーシャル・ロジスティクスの展開を概観する(DP1, 2, 3)。 身近なロジスティクスとして、宅配事業の仕組みに目を向け、ロジスティクスへの関心を育てる(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) 宅配便に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) 宅配便に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。	2	①授業テーマ ロジスティクスと流通・サプライチェーン・マネジメント、身近なロジスティクス(2)「コンビニ」 ②授業概要 ロジスティクスと関連付けて論じられることの多い流通(商流及び物流)並びにサプライチェーン・マネジメントの意味を考える(DP1, 2, 3)。 身近なロジスティクスとして、コンビニエンス・ストアの共配及びPOSシステムに目を向け、ロジスティクスへの関心を育てる(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) コンビニに関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) コンビニに関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。	3	①授業テーマ ロジスティクスと物流機能、身近なロジスティクス(3)「ペリー輸送」 ②授業概要 ロジスティクスと物流機能(輸送、保管、流通加工、包装、荷役、情報)の意味を考える(DP1, 2, 3)。 身近なロジスティクスとして、旅客機による貨物輸送、及びフォワードによる混載業務に目を向け、ロジスティクスへの関心を育てる(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) 航空貨物に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) 航空貨物に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。	4	①授業テーマ ロジスティクスと物流事業(1)貨物自動車運送事業、宅配便事業、鉄道運送事業 ②授業概要 運輸統計資料をもとに各運送モードの特徴を考察する(DP1, 2, 3)。 貨物運送自動車事業、宅急便事業及び鉄道貨物輸送事業の各々の事業区分及び事業特性について考える(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) 陸上運送に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) 陸上運送に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。	5	①授業テーマ ロジスティクスと物流事業(2)海上運送事業、航空運送事業、利用運送事業、倉庫業 ②授業概要 海上運送事業、航空運送事業、利用運送事業、倉庫業の各々の事業区分及び事業特性について考える(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) 海上運送に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) 海上運送に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。	6	①授業テーマ ロジスティクスと物流事業(3)グローバル事業展開 ②授業概要 貿易実務を支える決済、税関、保険等の制度及びグローバル・サプライチェーン・ロジスティクスの現状と将来展望について検討する(DP1, 2, 3)。 貿易実務の知恵であるインコタームズを用い、売買におけるコストとリスクの分担の仕組みを設例に当てはめて考える(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) 国境を越えたサプライチェーンに関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) 国境を越えたサプライチェーンに関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。	7	①授業テーマ ロジスティクスと事業戦略(1)マーケティング ②授業概要 商品開発や販売戦略にインパクトを与えるマーケティングとロジスティクスとの関係について考える。3PLの実務についても考察の範囲を広げる(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) マーケティングに関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) マーケティングに関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。
回	内容																
1	①授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の進め方、成績評価の仕方等の説明)、イントロダクション、身近なロジスティクス(1)「宅配便」 ②授業概要 (ガイダンス) 授業のテーマや内容、スケジュール、成績評価の方法について確認する。 (イントロダクション) ロジスティクス概念の生成とビジネス・ロジスティクス、ソーシャル・ロジスティクスの展開を概観する(DP1, 2, 3)。 身近なロジスティクスとして、宅配事業の仕組みに目を向け、ロジスティクスへの関心を育てる(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) 宅配便に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) 宅配便に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。																
2	①授業テーマ ロジスティクスと流通・サプライチェーン・マネジメント、身近なロジスティクス(2)「コンビニ」 ②授業概要 ロジスティクスと関連付けて論じられることの多い流通(商流及び物流)並びにサプライチェーン・マネジメントの意味を考える(DP1, 2, 3)。 身近なロジスティクスとして、コンビニエンス・ストアの共配及びPOSシステムに目を向け、ロジスティクスへの関心を育てる(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) コンビニに関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) コンビニに関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。																
3	①授業テーマ ロジスティクスと物流機能、身近なロジスティクス(3)「ペリー輸送」 ②授業概要 ロジスティクスと物流機能(輸送、保管、流通加工、包装、荷役、情報)の意味を考える(DP1, 2, 3)。 身近なロジスティクスとして、旅客機による貨物輸送、及びフォワードによる混載業務に目を向け、ロジスティクスへの関心を育てる(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) 航空貨物に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) 航空貨物に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。																
4	①授業テーマ ロジスティクスと物流事業(1)貨物自動車運送事業、宅配便事業、鉄道運送事業 ②授業概要 運輸統計資料をもとに各運送モードの特徴を考察する(DP1, 2, 3)。 貨物運送自動車事業、宅急便事業及び鉄道貨物輸送事業の各々の事業区分及び事業特性について考える(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) 陸上運送に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) 陸上運送に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。																
5	①授業テーマ ロジスティクスと物流事業(2)海上運送事業、航空運送事業、利用運送事業、倉庫業 ②授業概要 海上運送事業、航空運送事業、利用運送事業、倉庫業の各々の事業区分及び事業特性について考える(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) 海上運送に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) 海上運送に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。																
6	①授業テーマ ロジスティクスと物流事業(3)グローバル事業展開 ②授業概要 貿易実務を支える決済、税関、保険等の制度及びグローバル・サプライチェーン・ロジスティクスの現状と将来展望について検討する(DP1, 2, 3)。 貿易実務の知恵であるインコタームズを用い、売買におけるコストとリスクの分担の仕組みを設例に当てはめて考える(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) 国境を越えたサプライチェーンに関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) 国境を越えたサプライチェーンに関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。																
7	①授業テーマ ロジスティクスと事業戦略(1)マーケティング ②授業概要 商品開発や販売戦略にインパクトを与えるマーケティングとロジスティクスとの関係について考える。3PLの実務についても考察の範囲を広げる(DP1, 2, 3)。 ③予習(120分) マーケティングに関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようになる。 ④復習(120分) マーケティングに関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようになる。																

8	<p>①授業テーマ ロジスティクスと事業戦略(2) ICT, IoT</p> <p>②授業概要 ロジスティクスを支える受発注システム、在庫管理システム、作業管理システムといったICTの仕組みについて考えるほか、IoTないしロジスティクス4.0といわれるロジスティクスの高度化の方向性を確認する(DP1, 2, 3)。</p> <p>③予習(120分) 物流分野のテクノロジー進化に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようにする。</p> <p>④復習(120分) 物流分野のテクノロジー進化に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようにする。</p>
9	<p>①授業テーマ ロジスティクスと事業戦略(3) 環境・犯罪・テロ対策</p> <p>②授業概要 今日のロジスティクスの重要課題である環境問題、及び資源保護にかかるリバース・ロジスティクスについて考える。海上及び航空運送分野のセキュリティ問題(地政学的問題、犯罪・テロ対策)にも、考察の範囲を広げる(DP1, 2, 3)。</p> <p>③予習(120分) 物流分野の環境問題に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようにする。</p> <p>④復習(120分) 物流分野の環境問題に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようにする。</p>
10	<p>①授業テーマ ロジスティクスと国家戦略</p> <p>②授業概要 ロジスティクスの巧拙は企業競争のミクロな問題に止まらず、国家の浮沈に関わるマクロな問題としても認識されることから、各国のロジスティクス政策を踏まえて、我が国のあるべき政策について考える(DP1, 2, 3)。</p> <p>③予習(120分) 港湾又は空港の国際競争に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようにする。</p> <p>④復習(120分) 港湾又は空港の国際競争に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようにする。</p>
11	<p>①授業テーマ ロジスティクスとインフラストラクチャー</p> <p>②授業概要 ロジスティクスを支える施設インフラ、技術インフラ、及び制度インフラの現状と課題を考察する(DP1, 2, 3)。</p> <p>③予習(120分) 交通インフラに関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようにする。</p> <p>④復習(120分) 交通インフラに関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようにする。</p>
12	<p>①授業テーマ 災害ロジスティクス(1) サプライチェーンの寸断と復旧</p> <p>②授業概要 阪神淡路大震災、東日本大震災、能登半島地震その他の大災害におけるサプライチェーンへの影響を事例分析するなかから、災害ロジスティクスの要素を抽出する(DP1, 2, 3)。</p> <p>③予習(120分) 令和6年能登半島地震における救援活動又は救援物資輸送に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようにする。</p> <p>④復習(120分) 令和6年能登半島地震における救援活動又は救援物資輸送に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようにする。</p>
13	<p>①授業テーマ 災害ロジスティクス(2) BCP・BCM</p> <p>②授業概要 ロジスティクス分野のBCP・BCM(事業継続)の取り組みと課題について考える(DP1, 2, 3)。</p> <p>③予習(120分) 災害時の事業継続に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようにする。</p> <p>④復習(120分) 災害時の事業継続に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようにする。</p>
14	<p>①授業テーマ 災害ロジスティクス(3) 緊急支援物資・医療物資輸送</p> <p>②授業概要 緊急支援物資・医療物資輸送を中心としたソーシャル・ロジスティクスの現状と課題について考える(DP1, 2, 3)。</p> <p>③予習(120分) DMATの活動に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようにする。</p> <p>④復習(120分) DMATの活動に関するニュースをさらに3点以上検索し、授業で学んだ内容を踏まえ、他者に説明できるようにする。</p>
15	<p>①授業テーマ サマリー</p> <p>②授業概要 半年間の講義を総括する(DP1, 2, 3)。 災害ロジスティクスに関するレポートを設定します。締切後、模範解答の説明を含む問題解説を共有します。</p> <p>③予習(120分) 令和6年能登半島地震の復旧に関するニュースを3点以上検索し、自己の経験及び既存知識と関連付けて、他者に説明できるようにする。</p> <p>④復習(120分) 令和6年能登半島地震を教訓に、本講で学んだ概念、手法を用いて首都直下地震下を想定したロジスティクス上の課題についてレポートを作成してみましょう。</p>

関連科目	「危機管理法制1(企業・取引)」（R5MR0006）と関連します。
教科書	Jean-Paul Rodrigue, The Geography of Transport Systems (6th ed., 2024, Routledge)
参考書・参考URL	The Geography of Transport Systems ポータル https://transportgeography.org/
連絡先・オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 連絡先 開講時に告知します。 ■ オフィスアワー 木曜昼休み。それ以外の時間については、メール等でアポイントメントをとって来てください。
研究比率	<ul style="list-style-type: none"> ■ 危機管理領域との対応 災害マネジメント25%；パブリックセキュリティ25%；グローバルセキュリティ25%；情報セキュリティ25% ■ 危機管理学と法学のバランス 危機管理学25%；法学75%

